

## 表現運動系

### 【体育科の内容構成】

学年	1・2年	3・4年	5・6年
領域	体づくりの運動遊び	体づくり運動	
	器械・器具を使つての運動遊び	器械運動	
	走・跳の運動遊び	走・跳の運動	陸上運動
	水遊び	水泳運動	
	ゲーム		ボール運動
	表現リズム遊び	表現運動	
		保健	

### 【表現運動について】

☆ 表現運動系は、自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ったり、互いのよさを生かし合つて仲間と交流して踊ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。表現運動系の領域として、低学年を「表現リズム遊び」、中・高学年を「表現運動」で構成している。

☆ 表現リズム遊びは、「表現遊び」及び「リズム遊び」で内容を構成している。これらの運動遊びは、身近な動物や乗り物などの題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりする楽しさに触れることのできる運動遊びである。また、友達と様々な動きを見付けて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりする楽しさに触れることのできる運動遊びである。

☆ 表現運動は、中学年を「表現」及び「リズムダンス」で、高学年を「表現」及び「フォークダンス」で内容を構成している。これらの運動は、自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合つて仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

[小学校学習指導要領(平成29年告示)解説より]



1・2年	3・4年	5・6年
表現リズム遊び	表現運動	
ア 表現遊び イ リズム遊び 《内容の取扱い》 ※リズム遊びに、 <u>簡単なフォークダンス</u> を含めて指導することができる。	ア 表現 イ リズムダンス 《内容の取扱い》 ※学校や地域の実態に応じて <u>フォークダンスを加えて指導</u> することができる。	ア 表現 イ フォークダンス 《内容の取扱い》 ※学校や地域の実態に応じて <u>リズムダンスを加えて指導</u> することができる。

→ 各学年で内容が決まっています。未履修のないように学習計画を立てることが大切です。  
小学校学習指導要領解説(体育編)に詳しく掲載されています。この機会に、ぜひ！ご一読を。

### ● 3つのダンスの特性

第1節 「表現運動系及びダンス」領域のねらいと内容

表2 「三つのダンス」の特性と重点的な内容

	表現 (小)・ 創作ダンス (中・高)	リズムダンス (小)・現代的な リズムのダンス (中・高)	フォークダンス (小・中・高)
運動の特性 (楽しさや魅力)	表したいイメージを自由に動きを工夫して踊り表現する 【自由に踊る創造的な学習】	ロックやサンバ、ヒップホップなどのリズムに乗って自由に友達と関わって踊る 【自由に踊る創造的な学習】	日本や外国の伝承された踊りを身に付けてみんなで一緒に踊って交流する 【再現して踊る定形の学習】
特性と関わる重点	イメージになりきって自由に踊る	リズムに乗って自由に踊る	踊りを共有して人と交流して踊る
主な技能の内容	・全身を使って、大きさに表現(誇張)して踊る ・変化を付けた「ひと流れの動き」で踊る(即興的な表現) ・「はじめ-なか-おわり」の「ひとまとまりの動き」にして踊る(ひとまとまりの表現・作品)	・リズムに乗って全身で弾んで踊る ・リズムの特徴をとらえて、体幹部でリズムに乗って踊る ・変化とまとまりをつけて連続して踊る	・基本的なステップや組み方を身に付けて通して皆で踊る ・踊りの背景や特徴を捉えて味わって(洗練させて)皆で踊る
工夫の視点や楽しみ方	・イメージと動きの多様な関わり ・即興的な表現と作品創作の二つの楽しみ方	・音楽のリズムと動きの多様な関わり ・相手との関わり方の工夫 ・交流会などの工夫	・踊りの特徴や感じの違い ・踊り方の難易度等(易しい-難しい、単純-複雑)

「学校体育実技指導資料 第9集 表現運動系及びダンス指導の手引」P9より  
→ ここで大切なのは「自由に」という言葉がたくさん出てくることです。決められた振りを踊ったり、みんなで揃えたりすることに重きを置くことは、表現運動の趣旨とは少し違ってきます。(※フォークダンスは再現して踊る定型の学習になります。)